

トップランナー

～秋田県の貿易先進レポート～

平成19年2月まで毎月発行

vol.2 平成18年7月

バックナンバーはこちら→

<http://www.a-trade.or.jp/toprun/toprun.html>

ATPA (社)秋田県貿易促進協会

「輸出は作り手の考えに、
こだわりや思想をもつこと
が大事。」

(株)エムアンドエムは、乾燥納豆やGABA発芽玄米を主力商品とする。地域に根ざした食品を海外に売り出すという人生目標を達成し、今では有名サッカー選手が来店する高級レストランでも同社商品が飛ぶように売れている。
輸出の先進事例をレポートする。



(株)エムアンドエム
佐々木 正光 代表取締役

人に良いと書いて「食」

平成18年6月、秋田市の川反通りにヘルシーレストラン「ひまらや本店」が開店した。名前の由来は、ヒマラヤ山麓に自生するキノコなど通常人手で採れない食材を扱う。

刈野に生まれ、自然の中で育った(株)エムアンドエムの佐々木社長は、若い頃から「人間の営みの原点は農業。」と考えてきた。添加物などを全く使用しない食品を多数開発し、ここに「同社のテーマ、人に良いと書いて「食」」を体現した。

人生設計

常に目標を高く掲げる。自分の人生目標を20年ごとに区切り、20才から40才までを「勉強期」、40才から60才までを「実践期」と位置づけている。

最初の勤務先は東京都庁。しかし、豪胆な性格の佐々木社長は、難関を突破した都庁への勤務も、たった5年間で決めてしまう。周囲の反対をよそに、計画通り終了すると、未完である勉強期の続きを別に求めた。

(株)エムアンドエムを設立

新天地は地元刈野。「地域に根ざした産業が必要。」と考え、町おこしに傾倒した。

異業種との交流を皮切りに、研究・学術機関との交流を通じて地域に特化した商品の開発に乗り出す。やがて研究は昇華し、平成元年、会社の設立に至った。

時代を先取り

研究熱心な性格と将来予測に敏感なことが相まって、これまでに時代を先取りした様々な商品を開発してきた。売れ筋商品は、乾燥納豆「Aito Nuts」、発芽玄米「GABA Rice Komachi」。

発芽玄米は、大手企業が市場を席巻しているが、全国初の開発者は(株)エムアンドエムであった。



日本企業は海外見本市で注目が高い